



# CSR Report

2017



株式会社 ニラク・ジーシー・ホールディングス  
**NIRAKU GC HOLDINGS, INC.\***

(Incorporated in Japan with limited liability 於日本註冊成立的有限公司)  
Stock Code 股份代號 : 1245

## 本レポートについて

本CSRレポートは、香港証券取引所におけるメインボード上場規則の附属書類 (ESGレポーティングガイド) に準拠し、株式会社 ニラク・ジーシー・ホールディングス (以下、「ニラク」または「当社」) の環境・社会・ガバナンスに関する情報を開示しています。

当グループの活動は主に子会社である株式会社ニラクの主事業であるパチンコホール経営であることから、本レポートは、主に株式会社ニラクにおけるCSRへの取り組みを中心とした内容となっています。

本レポートは、特に記載ある場合を除き、アニュアルレポート2017と同様に2016年4月1日から2017年3月31日までを報告期間としています。

本レポートは、リスク管理担当執行役 (CRMO) により編集され、取締役会にて承認されています。

## はじめに

株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングスは、日本の福島県においてパチンコホール業界をリードしております。パチンコホール運営に関する60年以上の経験から、当社グループは地域貢献をはじめ、CSRに着目することが経営にとって不可欠であり、また、当社の企業理念から導き出されるものであると考えています。

香港証券取引所の上場規則改訂を受け、当社は初のCSRレポート(以下「当レポート」)を公表致します。当レポートがステークホルダーの皆様へ、当社グループの取り組みをご理解していただく機会となれば幸いです。



N-SOUL

経営理念

# 「明るく、楽しく、面白く」

～Happy Time Creation～

私たちは、世の中を明るく楽しく面白くしていくことで、  
人々の幸せな時間を創造していきます。

お客様

ニラクをご利用いただく全ての人々のために

社員

ニラクで働く全ての人々のために

地域  
社会

コミュニティやお取引先様のために



## CSRへの取組方針と ステークホルダーエンゲージメント

取締役会は当社グループのCSRに関連するリスクを評価、決定し、適切かつ効果的なCSRに関するリスクマネジメントを行い、適所に内部統制システムを整備することを含む、CSRに関する戦略に対しての責任を有しています。

当社グループは、関連するCSR上の課題を識別し、それらの課題が当社グループの事業、およびステークホルダーの皆様に対して有する重要性を評価するために、日々の業務のレビューや内部のディスカッションを通じて、経営者および当社グループ内の異なる部門の従業員との間で検討を行いました。

その結果、重要と考えられるCSR上の課題に関して、当レポートにて詳細を記載しています。

なお、当レポートの報告期間において、当社グループは、これらの重要な課題に関連する領域において当社グループに重要な影響を与える法規制に対しての不遵守または違反を認識しておりません。

当社グループは、ステークホルダーの皆様のご関心に、これまで以上に対応するために、皆様からのフィードバックを募集しています。

フィードバックの詳細については、巻末の「フィードバックのお願い」をご参照ください。

## 01 地域・社会貢献活動

---

・Active Local Engine	07
・地域に密着した憩いの場を	09
・福島の子どもたちに夢と希望を	10
・地域をきれいに ・慈善活動のためにリサイクルを	11
・地域から元気と笑顔を発信	12
・音楽を通して地域に希望と勇気を ・県内59市町村を巡り、 開催地の観光PRを応援	13

## 02 環境への取り組み

---

・環境に対する考え方	15
・東日本大震災による電力削減への 取り組み	
・LED照明の導入	16
・空調設備電力削減システムの導入	18
・ビジネスセンター太陽光発電	19
・温室効果ガスなど排出物削減への 取り組み	20

## 03 人財開発

---

・人財に関する考え方	22
・教育研修制度	25
・労働安全&健康管理	26
・福利厚生 ・労使関係	27

## 04 社会の一員として

---

・AEDの設置	29
・安心して遊技できる環境	30
・汚職行為(腐敗)防止	31
・業界最高レベルの風適法遵守体制 ・不正防止 ・Anti Money Laundering	32

### 別添資料

---

フィードバックのお願い

---

A close-up photograph of three hands of different skin tones gently cupping a single green leaf. The hands are positioned in a way that suggests care and support. The background is a soft-focus green field.

01

地域・社会貢献活動



## 地域を活かすエンジン、始動。

ニラクは地域活性の原動力になりたい。

燃料は今まで眠っていた地元の魅力。

それらを見つけ、掘り起し、エンターテイメントとして広げていく。

ひとりの「楽しい」を、みんなの「楽しい」へ変えていくと、

きっと地域は輝きだす。

誰もが、地域を活かして、地域に活かされる。

そんな未来を、ニラクは始めます。





## アクティブ・ローカル・エンジン (Active Local Engine)とは

アクティブ・ローカル・エンジン(Active Local Engine)とは、地域社会との共存、発展のために行う、地域に密着した様々な社会貢献活動の取組みのことです。株式会社ニラクでは、社員一人ひとりが優れた倫理観を持った良き企業市民として、地域のコミュニティやお取引先様のために、地域社会との信頼関係を築いていきたいと考えています。

ウェブサイト

<http://www.niraku.co.jp/ale/concept.php>



## 地域に密着した憩の場を



### 須賀川市釈迦堂川花火大会

地域の皆様に喜んでいただけるよう、2002年のニラク須賀川店オープン以降、毎年の花火大会当日に店舗を休業し、須賀川市の行政関連部署等と協力しながら、当店全ての敷地及び駐車場を花火観覧スペースとして無料開放しています。

当日、駐車場内スペースでは、出店業者様による飲食屋台や店舗従業員を始めとしたスタッフ総出で行う屋台やイベント運営を通して、地域の方々との交流を深めています。





## 福島の子どもたちに夢と希望を

### プロバスケットボールチーム

#### 「福島ファイヤーボンズ」オフィシャルスポンサー契約締結

福島復興のため、地域社会の一員として次世代を担う子どもたちに夢と希望を届け、プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」を応援しています。地域社会の発展に寄与したいという考えのもと、スポンサー致しました。

ホームゲームの毎試合では、地域の子どもたちや障がいを持たれている方々をご招待しています。また、福島県内の一部店舗の景品コーナーではファイヤーボンズグッズを展開しており、利益の一部はファイヤーボンズを通じた地域のユースチームや子供たちのバスケットボール寄贈などにご活用いただいております。



#### 福島ファイヤーボンズ概要

- 法人名 | 福島スポーツエンターテイメント株式会社
- 所在地 | 〒963-8004  
福島県郡山市中町15-9 増子中町ビル8F
- 代表取締役 | 宮田 英治
- ウェブサイト | <https://firebonds.jp/>





## 地域をきれいに

### 地域清掃活動

優れた倫理観を持った良き企業市民として、店舗、本社周辺を定期的に清掃しています。また、2016年9月9日に行われた日本遊技関連事業協会が主催するクリーンデイ清掃活動では、全56店舗、459人が参加し310kgのゴミを集めました。



## 慈善活動のためにリサイクルを



### リサイクル活動

私たちは“慈善活動の為にリサイクルを”を呼びかけ、お客様のご協力のもと収集されたエコキャップやアルミ缶とプルタブを定期的に一般社団法人「環公害防止連絡協議会」へ送っています。この取り組みは、環境を保護するだけでなく、回収された量に応じて、必要とする人のために車いすやポリオワクチンに替えられています。



## 地域から元気と笑顔を発信

### ハロウィンパーティーin郡山に協賛

東北ハロウィンプロジェクト(福島県郡山市)が主催する、地域活性化を目的とした「ハロウィンパーティーin郡山」に協賛し、お客様のご厚意によって集められたお菓子を実行委員会に届けました。当日は店舗の従業員も仮装し、ハロウィンパーティーに参加、地域の皆様とコミュニケーションを図りました。





## 音楽を通して地域に希望と勇気を

### 風とロック芋煮会に協賛、運営協力

風とロック芋煮会は、福島県郡山市出身のクリエイティブディレクター<sup>ヤマイミチヒコ</sup>箭内道彦氏の「風とロック」と「福島民報社」主催による音楽を中心としたイベントであり、2007年に福島で始まった企画として定着し、現在に至ります。2011年の東日本大震災を機に、東北を拠点に置く企業として、当イベントに協賛、運営協力を実施しました。



## 福島県内59市町村を巡り、開催地の観光PRを応援

### 風とロックCARAVAN福島に協賛

風とロックCARAVANは、福島県郡山市出身のクリエイティブディレクター箭内道彦氏と開催地の代表者（首長、商工会、観光協会員など）の方が地域のPRをしたり、地域の現状と今後を語り合うトークショーやライブを行うなど、県内59市町村を巡り、交流を図る地域に密着したイベントです。2011年の東日本大震災以降、当イベントの趣旨に賛同し、協賛しています。

当社ブースでは、お客様のご厚意によって集められたお菓子のプレゼントを実施し、イベントを盛り上げています。その他イベント運営のお手伝い、終了後の清掃活動なども実施しています。



02

環境への取り組み



## 環境に対する考え方

当社グループは、企業理念「地球に感謝し、企業活動で発生する環境負荷を減少させるとともに、個人の環境保全活動を可能な限り支援していきます。」のもと、低炭素社会の実現のため地球温暖化、天然資源の枯渇、廃棄物による汚染問題、水の消費などに対して、ビジネスセンターおよび営業店舗の地域に根差した活動を積極的に推進しています。

当社グループは、環境に対して重要な影響を与えるものが主としてエネルギー消費と温室効果ガスであると考えているため、これらに関する取り組みを以下に記載します。



## 東日本大震災による電力削減への取り組み

株式会社ニラクは、2011年に発生した東日本大震災に伴う福島第一原発事故以降、電力供給不足への対応と火力発電依存による電力コストへの取り組みの一つとして、ピーク期間・時間帯の最大使用電力需要を抑える電力需要対策を実施しています。

### 【取り組み事例】

- Y 店内照明を可能な範囲で消灯する
- Y 店内の空調温度を26℃程度にする
- Y 自動販売機の電気を半分消灯する
- Y 店舗外のネオン広告看板を一部消灯する
- Y その他事務所内照明を含めた設備の電源を可能な限り消灯する

また、電力需給ギャップが大きいことによる電力不足が想定されたことを受け、7月～9月の電力需要ピークにおける瞬間使用最大電力削減への協力のため、空調、照明関係での節電項目の設定と実施に継続して取り組んでいます。

- Y 空調
  - ・ホール建物内の空調温度をこまめな温度管理により26℃より下げない。
  - ・バックヤードにおいて、使用スペースと用途に応じた空調電源管理の実施。
- Y 照明
  - ・ホール内照明の一部消灯、自動販売機照明の消灯等。
  - ・バックヤードの照明の一部消灯、在室時以外の消灯。
- Y その他
  - ・駐車場、駐輪場照明、一部消灯、ネオンの消灯等。
  - ・使用機器、設備の必要時以外の電源オフ管理等。





## LED照明の導入

当社グループは、電力削減への取り組みの一環として、東日本大震災の翌年である2012年にビジネスセンターの照明器具をLEDに切り替えました。

また営業店舗では、お客様の遊技環境改善と電力コスト削減の両立を目的に、2012年から2017年までの6年間で店舗内外照明をLED照明に切り替え、照明にかかる電力量の66%を削減しています。



## LED導入実績

### 2012年

中野店  
大田雑色店

### 2013年

郡山駅前店  
郡山大槻店  
万世店  
郡山新さくら通り店  
中野サンモール店  
郡山日和田店  
東大和店  
上北台店  
端穂店  
仙台南店  
鳥谷野店  
二本松店  
下館店  
安積店  
いわき神谷店  
白根店  
中木戸店  
豊栄店

加須愛宕店  
大田原加治屋店  
武蔵村山伊奈平店  
福島瀬上店  
郡山図景店  
安中板鼻店  
中野サンモール2店  
海老名本郷店

### 2014年

郡山並木店  
入間新光店  
渋川有馬店

### 2015年

大田長原店  
吉原店  
美術館通り店  
相馬店  
鴻巣中井店  
南相馬原町店  
平塚黒部丘店(店舗棟)  
福島笹木野店

郡山荒井店  
本宮店  
羽生店  
渋川白井店  
笠間店

### 2016年

平店  
ひたちなか店  
須賀川店  
郡山南店  
結城小田林店  
北本深井店  
常陸多賀店  
足利福居店  
平塚黒部丘店(立駐棟)  
大泉店  
福島太平寺店

### 2017年

大田梅屋敷2号店(予定)

 LED設置事例

鴻巣中井店



平塚黒部丘店 外観





## 空調設備電力削減システムの導入

店舗の電力量の約50%は空調設備が占めており、空調の電力量を抑えることが電力削減に大きな効果を発揮します。このため店舗スタッフによる小まめな温度管理に加えて、2014年～2015年に17店舗で空調電力削減システムを導入し契約電力を15%削減しました。今後、効果の検証をしながら他の店舗や新規出店店舗へ導入を進めます。

空調電力削減システム機器

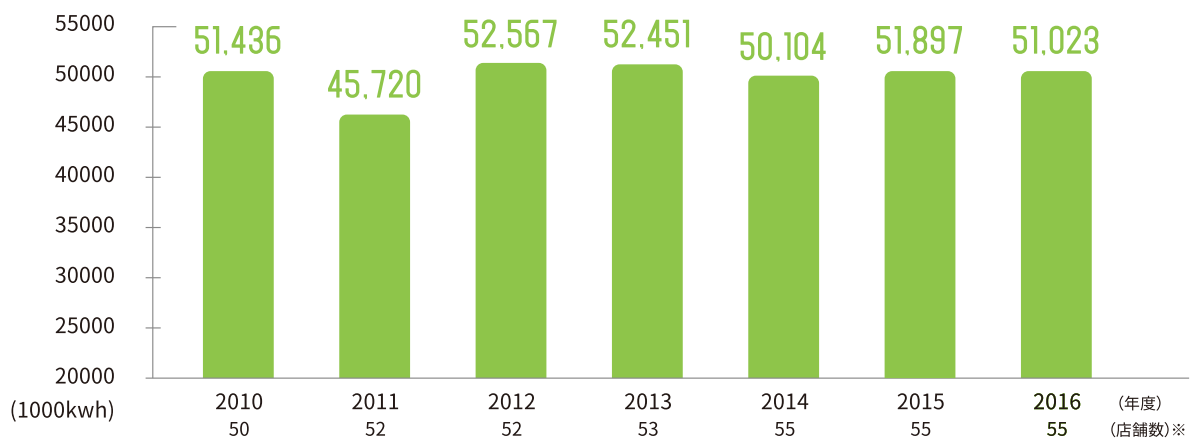


室外機設置状況



## 電力使用量

電力使用量



2008年 電力の見える化システム全店導入

2011年 東日本大震災による一時的な営業活動の縮小

2013年～2016年 LED照明導入

2014年～2015年 空調電力削減システム導入

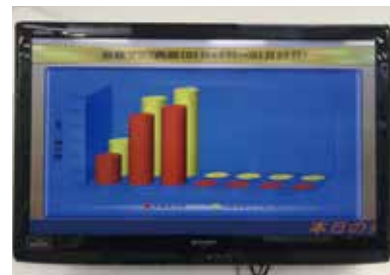
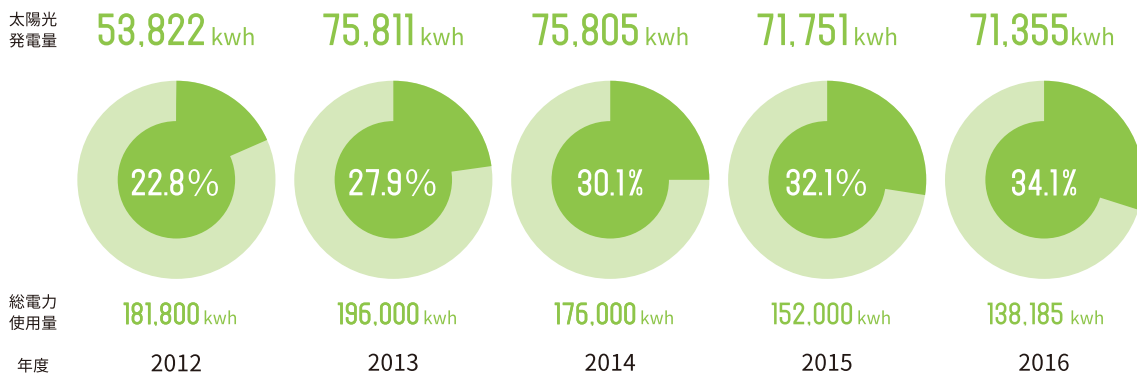
※東日本大震災の影響により2011年3月より富岡店は休業しています。



## ビジネスセンター太陽光発電

2012年6月にビジネスセンター太陽光発電の運転を開始しました。現在、ビジネスセンターで使用する電力の3割以上を太陽光発電でカバーしています。

### ビジネスセンター太陽光発電量

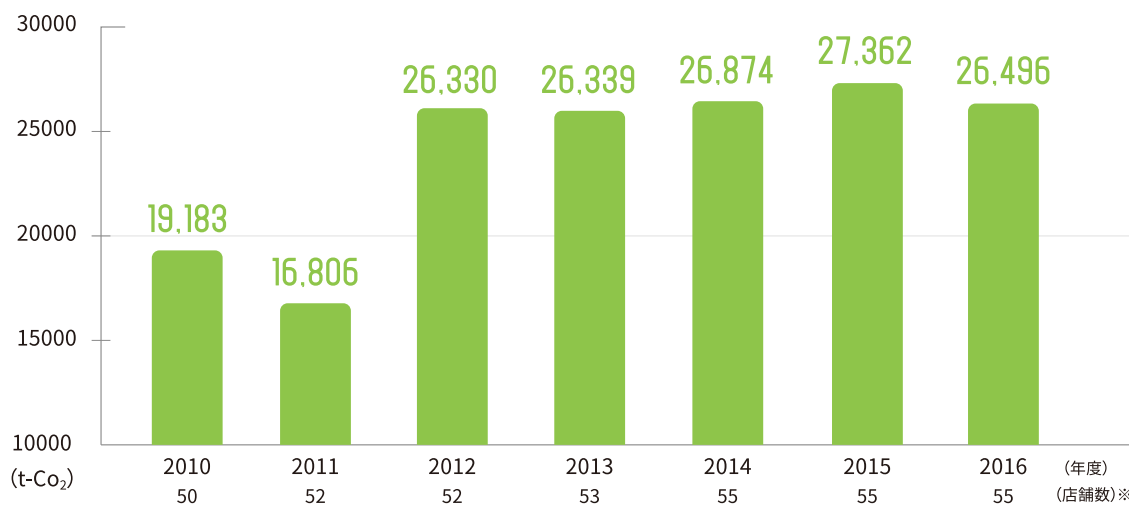




## 温室効果ガスなど排出物削減への取り組み

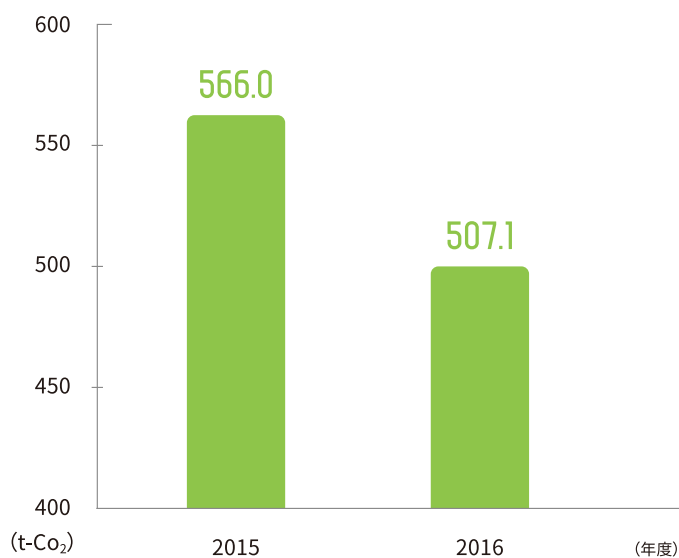
株式会社ニラクは、省エネ法により特定事業者指定されており、国内外における燃料資源の有効活用のためエネルギーの使用合理化を推進するとともに、フロンガス排出抑制法に基づく空調設備管理を行うことで温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

使用電力調整後温室効果ガス排出量



※東日本大震災の影響により2011年3月より富岡店は休業しています。

フロン排出量





03

人財開発



## 人財に関する考え方

私どもが求める人財は、創業以来当社グループの根幹となっている「愚直さ」「誠実さ」を芯に備え、自分の目的を明確に持ち、素直に感動できる人、また、自分の能力が無限であることを信じている人であり、ニラクの考えに共感できる人財を求めています。このような人財の力を合わせて、パチンコ業界を変革し、真の産業化を成し遂げ、そして更に新たな事業領域への「創新」を成し遂げたいと考えています。そのための学びと成長の機会を、従業員誰にも等しく提供していく考えを持っています。

## 人財確保

採用にあたっては、労働基準法や風適法などの関係法令を遵守し、法令に定められていない18歳未満の未成年者や在留・就業資格のない外国人は雇用致しません。

新卒採用においては、2012年より100名ほどの新卒採用プロジェクトチームを毎年結成しています。募集、選考、内定後の企業理解促進等の各ステップにおいて、採用担当者を含めたプロジェクトメンバーが協力し応募者に当社の魅力を伝えられるよう活動しています。

## ダイバーシティ

育児介護休業法を遵守し、女性の出産・育児支援や男性の育児休暇取得を推進しています。

その結果、次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主として、2010年、2012年、2016年と3度、厚生労働省より認定(くるみんマーク)されています。今後もさらに働きやすい職場環境の整備に努めていきます。



くるみんマーク

役職者人数・女性比率

項目	2013年	2014年	2015年	2016年
合計	138	146	149	158
男性管理職者数	129	136	139	145
女性管理職者数	9	10	10	13
女性管理職比率	7.0%	7.4%	7.2%	8.2%



## 2017年3月 女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業認定

株式会社ニラクは、2017年3月に女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定において、認定基準の5項目全てを満たし、最も高い認定段階である「第3段階」の認定を受けました。

### 【認定基準】

#### ① 採用

女性の競争倍率が男性の競争倍率より低く、女性の採用が進んでいます。

(2015年度 女性 1.65 倍、男性 2.19 倍)

#### ② 継続就業

女性の平均勤続年数について、男性との差が少なく、男女ともに働き続けやすい職場になっています。

(2015年度 女性 6.2 年、男性 8.5 年)

#### ③ 労働時間等の働き方

正社員の各月の時間外・休日労働の時間数の合計が平均 9.4 時間となっています。

#### ④ 女性管理職比率

管理職(課長級)に昇進した女性労働者の割合と男性労働者の割合の差が少なく、女性の登用が進んでいます。

#### ⑤ 多様なキャリアコース

直近の3事業年度において、女性の非正規雇用社員から正社員への転換、おおむね30歳以上の女性の正社員採用といった多様なキャリアコースが実施されています。



えるぼしマーク



左から人財開発部 志賀担当マネージャー、福島労働局長、  
社長 谷口久徳、人財開発部 鈴木



## 2010年2月 特例子会社「株式会社ニラク・メリスト」設立

障がい者雇用においては、障害者雇用促進法を遵守しており、2010年2月に障がい者雇用を推進する特例子会社「株式会社ニラク・メリスト」が設立されました。店舗や研修施設の清掃やアグリ事業として野菜の栽培をするなど、更なる環境の整備や職域拡大に柔軟に対応出来るメリットを活かすべく活動をしており、その結果、2016年には「平成28年度障がい者雇用優良事業所等全国表彰式」において厚生労働大臣表彰を受賞しました。



厚生労働大臣賞受賞の表彰状  
左から 社長 谷口久徳、株式会社ニラク・メリストゼネラルマネジャー 佐藤淳子



## 教育研修制度

未来のパチンコ業界を担う人財、そして社会で通用する人財を育成するために、株式会社ニラクでは企業内大学「ニラク大学」を設立し、教育を実施しています。全店にタブレット端末を導入し、作業マニュアルを確認しながら現場でのOJTに役立てています。Off-JTとしては、階層別研修等を自社の研修施設で開催し教育しています。また、一部の研修開催前に事前学習としてEラーニングを実施し、必要な知識を事前に修得することで、より効果的な研修になるよう努めています。

### 階層別研修

対象	研修内容		期間
新入社員(新卒)	入社時	新入社員研修	6日間
	入社6ヶ月後	新入社員フォローアップ研修	5日間
	入社1年後	新入社員フォローアップ研修	2日間
新入社員(中途)	入社時	新入社員研修	2日間
各階層	次職位候補者	マネジメント研修(各階層に必要なマネジメントスキル)	各2~3日間
		ローカルOFF-JT研修(コンプライアンス、セキュリティ等)	各1日間

### カリキュラムの開催数と参加人数

講義名	内容	開催数	参加人数
論理的思考	物事を論理的に考え、整理する方法を学ぶ	5	67
システム思考	物事の全体像を見極め、わかりやすく構造化する方法を学ぶ	1	8
分析思考	様々なフレームワークを使いながら、情報を分析する方法を学ぶ	5	59
創造的思考	固定観念を打破し、新たなアイデアを考える方法を学ぶ	1	12
デザイン思考	お客様の潜在ニーズを分析し、価値を提供するプロセスを学ぶ	1	10
批判的思考	主張や論点を的確に捉え、反論し、合理的な議論ができるようになる	2	15
プレゼンテーション	プレゼンテーションのポイントを学び、演習を通して自身のプレゼンテーション力を向上させる	5	42
企画書作成	良い企画の立て方を学び、論理的な企画書を作成する方法を学ぶ	3	38
戦略策定	会社を取り巻く外部環境や内部環境を把握し、戦略を立てる方法を学ぶ	1	9
会議ファシリテーション	会議の効果的な進め方を学び、目的を達成できる会議を運営する方法を学ぶ	4	28
多様性活用	性別、文化、価値観など異なる背景を受け入れ、活用できる方法を学ぶ	4	43
ネゴシエーション	交渉に必要な様々な事柄や準備、コミュニケーションなど交渉を成功させるためのスキルを学ぶ	2	25
組織論	組織でどのように仕事を行うのか、自身の考えを整理し、自身の行動を考える方法を学ぶ	4	54



## 労働安全 & 健康管理

### 安全衛生管理体制

従業員の事業場における労働災害の防止と業務上疾病の予防を目指すため、ビジネスセンター（本部）に総括安全衛生管理者、事業場ごとに衛生管理者および産業医（従業員50人未満の小規模事業場にあつては安全衛生推進者）を設置し、全社の安全衛生管理体制を構築しています。

労働安全衛生法を遵守し、従業員が50名以上であるビジネスセンターでは安全衛生委員会を組織し、毎月、委員会を開催しています。委員会では、各事業場における安全衛生の実情や問題点の把握・改善を図る全社的サポート体制について産業医とともに審議しています。

### 健康管理

定期健康診断や各種相談窓口（社内1つ、外部2つ）の設置等の支援体制を整えています。外部相談窓口として、ニラクホットライン（内部通報窓口）とEAP（メンタルヘルスに対応。従業員の同居家族も利用可）を設けています。また、月例の安全衛生委員会の議事録や各種関連情報を社内WEBサイトや社内報に掲載するなど、従業員への周知に努めています。

長時間労働者に対しては、問診票配布と産業医によるチェックを実施しています。また、社員の年次有給休暇の取得促進を進めるために、半年に1度、3日間の年次有給休暇を取得する取組みを進め、過重労働防止に努めています。

#### 労災発生件数（通勤災害除く）

項目	2013年		2014年		2015年		2016年	
	件数	延べ労働損失日数	件数	延べ労働損失日数	件数	延べ労働損失日数	件数	延べ労働損失日数
休業災害	5	126	6	27	10	65	5	20
不休災害	6	0	5	0	8	0	7	0
合計	11	126	11	27	18	65	12	20

#### 月平均時間外労働時間および有休取得率

項目	2013年	2014年	2015年
月平均時間外労働時間	12.7	10.9	10.0
有給取得率※	49.4%	46.3%	55.0%

※2016年度有休取得率は2018年3月期に集計されます。



## 福利厚生

---

従業員の中長期の資産形成を目的として、2001年に従業員持株会制度、2006年に確定拠出年金制度、2008年には財形貯蓄制度を導入しています。

2015年には香港証券取引所への上場に伴い持株会制度を改定し、2016年には確定拠出年金制度にマッチング拠出(会社が掛金を拠出する従来の企業型年金に従業員が追加拠出できる制度)を導入する等、従業員の資産形成をサポートしています。



## 労使関係

---

「UAゼンセン ニラクユニオン」が労働組合として結成されています。労働組合法を遵守し、労使相互で定期的に協議が行われ、健全で良好な関係を構築しています。



04

社会の一員として



## AEDの設置

株式会社ニラクでは、2010年からAEDの設置を開始し、2011年1月にはすべての店舗・営業所への設置を完了しました。現在ではAEDが経年劣化により使用できなくなることを防ぐため、メンテナンスから訓練までの一貫した委託契約を警備業者と締結し、その運用を行っています。

すべての従業員は入社後のトレーニングプログラム（店舗、各部署）に基づいて、簡易型心肺蘇生シュミレーション・キットを用いた訓練を実施しています。

### 【訓練の主な内容】

- ♥ 付属のDVD（約40分）を見て命の大切さ、第一発見者の重要性、胸骨圧迫、AEDの正しい使い方と意義を学びます。
- ♥ CPRトレーニング・ボックスを開け、疑似AEDとAEDパットを準備し、樹脂成型心臓を胸骨圧迫し適切なタイミングと圧迫する強さの練習を行います。

2016年度において、店舗におけるお客様の緊急搬送事例は89件ありました。

そのうち1件は重大な生命の危機での対応であり、AEDの適切な使用により命を救うことが出来た事案でした。

なお、2010年の配置開始から、AED使用により3件の救命実績があります。



ニラク全店で配置中








## 安心して遊技できる環境

当社グループのパチンコホールには、連日多くのお客様がご来店されます。お客様の安全を守る事を従業員へ徹底し教育しております。

また、すべての店舗では消防法を遵守し、以下の取り組みを実施しています。

 消 防 訓 練	2回／年	
 消防設備等点検	2回／年	
 防火対象物点検	1回／年	(全店舗実施)



## お子様の車内放置

駐車場を設けている店舗では、2時間に1回(酷暑・厳冬期においては1時間に1回)の間隔で、駐車場内のすべての車両を点検し車内にお子様の放置がされていないかをチェックしています。

2017年3月期においては、2件確認されましたが、いずれも短時間で発見し事故を未然に防ぐことができています。



## 汚職行為(腐敗)防止

### お取引先様との適切な関係

当社グループには、すべてのステークホルダーとの適正な関係の構築の為、倫理憲章をはじめとして就業規則・稟議規程・取引先規程・接待交際細則の数々の規程を設けています。これらの規程は、全ての取引を当社グループの統制の下で行うことを求めており、従業員による恣意的な判断が排除されることから不正や汚職の防止に寄与します。

株式会社ニラクでは取引先選定委員会を設置し、新規に取引を開始しようとしている法人および個人に対し、適正な審査を行い取引開始日の可否を決定しています。また現に取引を行っている法人および個人に対しても、年に1度スクリーニングを行い取引の継続等を審査しています。

2016年に審査した新規、継続の取引先は660件を超えました。

### 外部通報窓口の設置

株式会社ニラクでは長年の取引の上で、従業員による優越的地位の濫用や不正行為等の防止の為、外部通報窓口の設置を設置しすべてのステークホルダーからご意見を受け入れる体制を取っています。外部通報窓口とは、社外のコンサル担当(弁護士事務所)を窓口として、第1次受付および通報者との橋渡し役を行っているため、通報に対する情報は担当取締役まで確実に伝達され、是正や処分までがモニタリングされる事となります。

### 内部通報窓口

ハラスメントや不正行為等の通報制度として、外部弁護士事務所へその窓口業務を委託しています。

通報された情報は、通報者保護の観点から全ての個人情報を秘匿とすることも可能であり、その情報は必ず担当取締役まで確実に伝達され、是正や処分までモニタリングされます。





## 業界最高レベルの風適法遵守体制

当社グループの主な事業である、パチンコホール運営において最も重要な法律の一つである風適法（風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律）を遵守するため、店舗の体制と、それをバックアップするビジネスセンターの体制を構築しております。

### 【風適法に関する施策】

#### ① セルフチェック

全店舗において法律要件に則ったチェックを毎月1回の頻度で実施し、営業部内部監査への報告を必須としております。

#### ② 風適法監査

ビジネスセンターのバックアップ体制として、専門チームによる風適法に特化した監査を行っています。2か月に1回の頻度で全店舗監査を実施し、監査内容は株式会社ニラクの内部監査へ報告されています。当社の監査委員会へは、必要に応じ株式会社ニラクの内部監査から報告されています。



## 不正防止

当社グループは、内部・外部を問わず、遊技機に不正な改造を施すような法律違反をさせないため、全店舗の管理者に、遊技機取扱主任者（一般社団法人 日本遊技関連事業協会）の資格を取得させています。

店舗責任者を設置されている遊技機の管理責任者と規程で明確にしておき、全台の検査を3か月に1回以上の頻度で義務付けています。



## Anti Money Laundering

当社グループでは、主な事業であるパチンコホール運営におけるアンチマネーロンダリング(AML)リスクの発見と低減を促進させるための管理を行っています。

AMLに関連するすべての事象は、危機管理委員会を所管する事務局へ集約され、検査・調査・点検を行い、当社のリスク担当執行役(CRMO)へ報告されています。また同様に、監査委員会へも報告されています。

# フィードバックのお願い

当社グループのCSRレポートをご覧くださいありがとうございます。

当社グループのESGへの取り組み、およびCSRレポートの内容をより一層充実させるために、当レポートに関してご意見・ご感想をお聞かせ頂けると幸いです。

ご意見・ご感想をお聞かせいただける方は、下記フォームにご記入の上、メール、ファックス、郵送いずれかの形式でお送りください。なお、戴いた回答は上記目的のみに利用し、個人情報等は第三者に対して提供致しません。

今後とも、当社グループは「明るく楽しく面白く」という経営理念の下に、皆様に幸せな時間を提供してまいります。

## Q1. どのようなお立場から本レポートをご覧になりましたか？

- |                                  |                                  |                                 |                               |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客さま    | <input type="checkbox"/> 株主・投資家  | <input type="checkbox"/> 地域住民   | <input type="checkbox"/> 従業員  |
| <input type="checkbox"/> 業界団体    | <input type="checkbox"/> 取引先     | <input type="checkbox"/> 同業他社   | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 政府・監督当局 | <input type="checkbox"/> 学術・調査機関 | <input type="checkbox"/> その他( ) |                               |

## Q2. 本レポートの総合的な評価についてお聞かせください。

- 1.非常に満足      2.満足      3.どちらでもない      4.不満足      5.非常に不満足

## Q3. 本レポートの読みやすさに関する以下の点について、評価をお聞かせください。

- |             |      |           |      |
|-------------|------|-----------|------|
| ①レポートの構成    | 1.良い | 2.どちらでもない | 3.悪い |
| ②デザイン、レイアウト | 1.良い | 2.どちらでもない | 3.悪い |
| ③レポートの分量    | 1.短い | 2.適量      | 3.長い |

## Q4. 本レポートについて、最も興味を持ったトピックについてお聞かせください。

## Q5. 来期以降、本レポートに記載する必要のあるトピックについてお聞かせください。

## Q6. その他、本レポートに対するご意見等ございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。下記送付先までお送りください。

送付先

メール：niraku@sprg.com.hk  
ファックス：024-992-2221  
郵送：〒963-8811 福島県郡山市方八町2-1-24

**NIRAKU**  
**GC HOLDINGS**



**NIRAKU**  
**GC HOLDINGS**